

「盛岡地区かわまちづくり」の対外的発信状況

令和 4 年度中に盛岡地区かわまちづくりに関連して情報発信のあった主な内容は、以下の 7 項目となる。

番号	情報発信名称	概要
1	第 5 回北上川フェスタ in Morioka でのパネル展示（かわまちづくりパンフレット同時設置）	盛岡地区かわまちづくりが登録された平成 21 年度から令和 4 年度までの、懇談会や勉強会の経緯や、施設整備内容、住民参加の取り組みをパネルにまとめ展示した。フェスタ会場では、「盛岡かわまちづくり～季節の音巡りマップ」も自由に持ち帰ってもらうように設置した。
2	木伏 3 周年フェスティバルにおける焚火トーク（かわまちづくりパンフレット同時設置）	木伏事業者の発案により、河川管理経験者と河川利用経験者による、水辺利活用のこれからを語る焚火トークが実施された。焚火トーク会場では、「盛岡かわまちづくり～季節の音巡りマップ」も自由に持ち帰ってもらうように設置した。
3	岩手河川国道事務所ツイッターでの各種情報発信	かわまちづくりパンフレット紹介、舟運実施、サケのぼり設置、舟着き場、散策路と石積護岸、かわまち大賞受賞、かわまち大賞表彰式などの最新情報を、岩手河川国道事務所のツイッターで発信した。
4	「盛岡地区かわまちづくり」掲示板への情報掲出	プラザおでっかわまちづくり掲示板への、かわまちづくり関連情報を掲出した。
5	フェイスブック「もりおか北上川・中津川ミズベリングイベント情報」による情報発信	誰でも見ることができる北上川と中津川のミズベリングイベントのフェイスブック情報サイトは、今年度からミズベリング中津川の事務局が発信を開始している
6	かわまち大賞への応募・受賞	国土交通省が主催する「かわまち大賞」の応募し、R4 年度かわまち大賞を受賞した。
7	ニューヨークタイムズ紙による盛岡市選定情報	ニューヨークタイムズ紙による「2023 年に行くべき 52 か所」に、盛岡市が選定された。

(1) 第5回北上川フェスタ in Moriokaでのパネル展示

フェスタに合わせ、かわまちづくり概要紹介のパネルを作成し展示した。

項目	内容
発信主体	岩手河川国道事務所
開催日時	令和3年6月19日(土)
開催場所	北上川もりおか港周辺の河川敷、鉾屋町大慈寺地区コミュニティ前
情報内容	「盛岡地区かわまちづくりの概要紹介」パネルの展示(4枚)

盛岡地区かわまちづくりの取り組み経緯

「かわまちづくり」とは、河川空間とまち空間が融合した、良好な水辺空間の形成を目指す取り組みです。全国では、244箇所の地区が登録されています。(令和3年度時点)

盛岡地区では、地元の方々と盛岡市、そして河川管理者(岩手河川国道事務所)が連携して、地域の「顔」となり「誇り」になるような水辺空間づくりを目指してきました。

このパネルでは、かわまちづくりに関わってきた市民の皆さんや民間事業者の取組みを中心にご紹介します。

9 盛岡地区かわまちづくり登録地区

11 盛岡地区かわまちづくり登録地区

12 盛岡地区かわまちづくり登録地区

17 盛岡地区かわまちづくり登録地区

H21年度 2009年	<かわまちづくり計画がH26まで設定されました> ・「 かわまちづくり懇話会 」を発足。 ・第1回～第3回懇話会開催。	
H22年度 2010年	・第4回～第5回懇話会開催。 ・ かわまちづくりワークショップ 開催。(中津川で3回、北上川で2回) ・ オープンハウス 実施。	
H23年度 2011年	・第6回～第7回懇話会開催。 ・中津川、北上川沿河でのかわまちづくりワークショップ開催。 ・ワークショップからの提案書は、第7回懇話会の議題となる。 ・オープンハウスを実施。 ・準備会を経て「 かわまちづくり懇話会 」が発足。	
H24年度 2012年	・第8回懇話会開催。 ・第2回懇話会開催。 ・オープンハウス実施。	
H25年度 2013年	<かわまちづくり計画がH29までに変更されました> ・第9回懇話会開催。 ・第3回～第4回懇話会開催。 ・オープンハウス実施。	
H26年度 2014年	・第10回懇話会開催。 ・第5回懇話会開催。 ・ ミスベリング懇話会 開催。	
H27年度 2015年	第6回～第7回懇話会開催。	
H28年度 2016年	<かわまちづくり計画がR2までに変更されました> ・第11回懇話会を開催。 ・ もりおが中津川サケ物語 作成ワークショップを4回開催。 ・サケ電話冊子を沿川小学校や市内観光施設に配布。	
H29年度 2017年	・第12回懇話会開催。 ・第8回懇話会開催。 ・「北上川に舟っこを運航する盛岡の会」により 第1回北上川フェスタ IN MORIOKA 開催。	
H30年度 2018年	・第13回懇話会を開催。 ・第9回～第10回懇話会開催。(中津川グループと北上川グループ別) ・民間有志により「中津川ミスベリング検討会」が発足。 ・盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会設立。 ・第2回北上川フェスタ IN MORIOKA開催。(木造船もりおが丸漕水づつ)	
R1年度 2019年	・第14回懇話会開催。 ・第11～12回懇話会開催。 ・中津川ミスベリング検討会【 水辺で花見 】を開催。 ・中津川沿いにサケ道土敷組に合わせて「 サケのぼり 」を設置。 ・盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会により、第3回北上川フェスタ IN MORIOKAを開催。 ・舟運社会実験を延べ5回開催。 ・「 木伏 」オープン。(引継ぎ利用キャンプなど実施)	
R2年度 2020年	・もりおが中津川サケ物語について更新版冊子を編集・発行・配布。 ・第13回～第14回懇話会を開催。 ・中津川で「 陸道上映会 」開催。 ・盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会により、舟運通航試験開催。 ・木伏1周年記念イベント開催。(引継ぎ利用キャンプなど実施)	
R3年度 2021年	・盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会により、 第4回北上川フェスタ IN MORIOKA開催。 (鉾地敷) ・第15回懇話会開催。 ・コロナ禍のため舟運や周年イベント中止。	
R4年度 2022年	・「木伏」および河川敷にて民間事業者主催のイベント開催。 ・盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会により、 舟運の川開き 開催。 ・ 第5回北上川フェスタ IN MORIOKA を開催予定(R4.5月現在)。 ・「 盛岡かわまちづくり一筆書きの音読みマップ 」を発行。	

水辺の施設整備内容

国土交通省岩手河川国道事務所では、かわまちづくり事業が開始された平成 21 年から令和 2 年にかけて、中津川と北上川で様々なかわまちづくり施設整備をしてきました。(主な整備施設：散策路・階段・中州撤去・船着き場等)
 地域の方々や観光客が盛岡駅から北上川、中津川の散策ルートを利用して、まちなかの観光施設などにアクセスしやすくなるための散策路、坂路、階段、案内表示板の整備を行ってきました。また、まちづくりを行う上での景観上や利用上の障害となっている中州や樹木について、撤去・伐採を行うことで、景観の向上と利用促進を図ってきました。
 そして、北上川では景観に配慮した石積護岸や、地元団体からの舟運復活の活動を背景として船着き場を整備しています。



中津川

北上川合流点から上流中津川橋にかけて散策路を整備し、散策路沿いには、坂路・階段・案内表示板などを設けています。また、景観向上のため中州にある樹木については、適宜撤去・伐採しています。



北上川

下流の南大橋から上流の夕産薬師まで散策路を整備し、散策路沿いには、坂路・階段・案内表示板などを設けています。また、景観に配慮した石積護岸や、船着き場2箇所を整備されています。



中津川での取り組み

中津川では市民団体などによる河川愛護活動が盛んで、これまで多くの親水活動や河川管理活動が行われてきており、これら団体の皆さんを中心に「サケを資源としたまちおこし」や「ミズベリング（水辺空間の賑わい創出）」などの取り組みが行われています。



1 サケのことをもっと知ってもらいたい

サケの赤ちゃん放流会



▲与の字橋上流右岸

地元町内会が中心となり、近隣の小学生も参加して、平成6年から毎年実施されています。令和4年3月で28回になりました。

もりおか中津川サケ物語の作成



「かわまち勉強会」の有志によって、サケが遡上し産卵する中津川とサケの生態についてわかり易く知ってもらう目的で作成されました。



2 水辺でゆったりくつろぎたい

水辺で花見



▲中の橋上流左岸

地元有志によって、桜の満開時期に合わせて「水辺で花見」が実施されました。昼も夜も自由にくつろぐ様子が見られました。

水辺ベンチの設置



▲中の橋上流左岸

水辺をもっと活用したい地元有志によって、河川敷に簡易なベンチが設置され、散歩する皆さんの憩いの場になっています。

3 水のほとりで映画を見たい

水のほとりの上映会



水のほとりで映画を見たい！という地元有志によって、河川敷にスクリーンとイスを設置して映画上映会が開催されました。

▲中の橋上流左岸

4 河川を気持ちよい場所にしたい

一斉清掃・オオハンゴンソウ駆除



▲下の橋～富士見橋付近

河川敷を日常的に散策、休憩、自然学習などに利用するため、地元有志によって定期的に一斉清掃や外来種駆除が行われています。

北上川での取り組み

北上川では、地元有志団体が中心となって舟運復活の取り組みが熱心に行われています。そうした背景から「もりおか港」が整備され、令和元年にオープンした民間事業者運営の「木伏」とともに、河川空間の利用がますます盛んになってきています。



1 北上川の舟運復活でまちおこしたい！

舟運復活

舟運運航試験(木造船)



平成30年に有志団体により造船された木造船もりおか丸を使い、複数回の運航試験が実施され、令和4年は12回実施する予定となっています。

周辺商店街との連携



舟運の運航日には、材木町では「よ市」が開催(4月～11月の毎週土曜日)され、鉈屋町では「もりおか町家物語館」や「三善亭」などで催し物が行われています。

第4回北上川フェスタ(開港祭)



令和3年にもりおか港と新山河岸が整備されたことを御祝いして開港祭が開催されました。盛岡市長をはじめ関係者や多くの市民の参加がありました。

舟運とまち歩き



新山河岸で下船した後、鉈屋町界隈の散策や、ボンネットバスで市内を巡ったりするまち歩きも企画されています。

2 居心地がよく、賑わいのある水辺にしたい！

水辺の賑わい

木伏オープニングイベント



令和元年9月に「木伏」のオープニングイベントがあり、河川敷での「まちなかキャンプ」が初めて開催されました。

木伏1周年記念イベント



令和2年10月に「木伏」の1周年記念イベントがあり、河川敷をつかった「まちなかキャンプ」やスケートボードなどの「アクティビティ体験」がありました。令和4年には3周年イベントが予定されています。

民間業者による河川敷の利用



令和4年4月には、市内民間事業者によっても、「木伏」の河川敷を使ってキャンプイベントが開催されました。

日常的な親水護岸利用



「木伏」利用者や北上川の散策利用者を中心に、整備された階段やもりおか港の親水護岸が、日常的な憩いの場として活用され始めています。

(2) 木伏3周年フェスティバルにおける焚火トーク

同上フェスティバルで、様々な立場の関係者による公開焚火トークが初めて開催された。

項目	内容
主催者	木伏 (MORIOKA KIPPUSHI WATER NEIGHBORHOOD)
開催日時	令和4年9月10日(土) 18時~19時半
開催場所	北上川木伏緑地 河川敷
イベント名	「木伏3周年フェスティバル 焚火トーク」
開催趣旨	<p>国内の主要河川を管理する国交省では、河川の治水、利水、そして河川環境上の支障が生じないように配慮しながら、河川敷地において快適で賑わいのある水辺空間の創出を推進している。</p> <p>2011年(平成23年)には、河川の規則を改正して、一定の要件を満たす場合には、河川敷地で民間事業者等も営業活動を行えるようになっていく。</p> <p>盛岡市内を流れる北上川・中津川でも、昨今水面や水辺の利活用が活発になってきているが、河川空間活用の余地はまだある。</p> <p>こうしたなか、木伏に集う様々な立場の方々から、参加者自身のこれまでの実体験や経験を元に、今後の盛岡の水辺利活用について大胆に妄想していただきつつ、それを実現させる方法などを自由に語っていただく焚火トークを設けた。</p>
トークテーマ	「盛岡の河川空間利活用のこれからを語ろう」 ～盛岡の水辺、妄想と展望～
流れ	<p><1. 自己紹介> (全員)</p> <p><2. 河川空間オープン化活用事例の紹介> (河川管理経験者)</p> <p><3. 盛岡地区かわまちづくりの紹介> (河川管理経験者)</p> <p><4. 意見交換> (全員)</p>
参加者	<p>【トーク】(のべ8名)</p> <p>河川管理経験者：2名、河川利用経験者：1名、河川敷利用経験者(サウナ、キャンプ)：4名、進行役：1名</p> <p>【傍聴】(約20名)</p> <p>3周年イベント参加者、舟運運航者など</p>
意見交換発言趣旨	<p>◎キーワードその1：【日常使いできる河川敷】</p> <p><河川敷の草刈りと維持管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から草が刈られていると日常的に使えるスペースとなり、市民共有の財産になる。 ・草刈りを含め誰が管理するのが課題。 ・キャンパー自身が草刈りするのは、ハードルが高い。 ・利用した人がきれいにして帰るということで管理できればいい。 <p><舟運></p> <ul style="list-style-type: none"> ・舟を日常的に川に浮かべ、船上での飲食や水上芸妓をやれるとよい。 ・舟運を継続させ、木伏や周辺の旅館とも連携し、地域とともに活動したい。 <p><利用申請></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用申請手続きを簡便化してほしい。 <p><区域指定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木伏の河川敷を日常使いするために、「都市・地域再生等利用区域」の指定を取りたい。これによって、利用手続きも簡素化できる。

- ・この河川敷は盛岡ブランドになる特別な場所であり、区域指定は大きな意味がある。
- ・官民が協力して区域指定を進められたら良い。

◎キーワードその2：【利用に伴って必要な対策】

<利用者への安全対策>

- ・河川敷を自由に使うためには、水難事故の防止など安全対策が重要だ。

<周辺住民への夜間騒音対策>

- ・人が集まる施設があつていい場所なので、夜間も使用されるようになると、周辺への騒音対策も必要だ。

◎キーワードその3：【トーク参加者の一番の願い】

- ・キャンパーが増えてくれること。
- ・みんなで楽しく遊べる場になること。
- ・次回サウナイベントをやる際には、利用しやすい環境が整っていること。
- ・草刈りを軽減するために動物（ヤギ、ヒツジ）を借りて管理すること。
- ・河川敷を使いたい人、使ってほしい人が誰かということを見極めること。
- ・区域指定にむけて、民間の皆さんも含めいろんな人と協力しながら進めていくこと。
- ・河川行政を動かす担当者もいる場で話し合うこと。

焚火トークの様子



(3) ツイッターによる情報発信

岩手河川国道事務所のツイッターでは、パンフレット、イベント、整備施設、季節の設置物、かわまち大賞受賞などの最新情報を、適宜発信している。

項目	内容
発信主体	岩手河川国道事務所
	<p>国土交通省岩手河川国道事務所 @iwate_thr_mlit · 2022年10月6日</p> <p>【盛岡かわまちづくり】 パンフレットのQRコードから季節の音を聞くことができます。ぜひ、もりおかの音をお楽しみください。</p> <p>また、パンフレットのPDFはコチラ! thr.mlit.go.jp/iwate/siryou/...</p> <p>盛岡の水辺を楽しんでいるご自身やイベント、風景などSNSに「#ミスベリ ング盛岡」を付けて投稿お願いします。</p> <p>パンフレットは下記の施設で入手することができます。 岩手河川国道事務所1Fロビー、プラザおどって2F観光情報プラザ、もりおか歴史文化館、もりおか町家物産館、いわて・盛岡広域観光センター(盛岡駅2階南改札口前)</p>
	<p>国土交通省岩手河川国道事務所 @iwate_thr_mlit · 2022年10月11日</p> <p>10月8日(土)今年最後の舟運実施! 当日は、「もりおか丸」と「開明丸」の運航が実施されました。 少し肌寒い、冬が近づいている風を感じましたが午前中は心地よい天気でした。 次回は来年になりますが、機会があれば皆さまも川からのもりおかの景色と風や香りをお楽しみください。 #ミスベリング盛岡</p> <p>See you next year!</p>



国土交通省岩手河川国道事務所 @iwate_thr_mlit · 2022年10月12日 ...

中津川沿いにサケのぼりを設置しました！

中津川にサケが帰ってきたこの時期に、サケのぼりを設置しています。
5箇所を設置していますので、サケを見に来ながら探してみてもいいでしょうか？

サケが帰ってくる綺麗な中津川をいつまでも大切にしましょう！

[#中津川](#) [#サケ](#) [#ミズベリング盛岡](#)



26 78



国土交通省岩手河川国道事務所 @iwate_thr_mlit · 2022年10月31日 ...

盛岡地区かわまちづくり実行委員会で整備した新山河岸の船着き場と北上川です♪

[#北上川](#) [#ミズベリング盛岡](#)



5 14



国土交通省岩手河川国道事務所 @iwate_thr_mlit · 2022年11月4日
盛岡地区かわまちづくり事業において岩手河川国道事務所で整備した散策路と石積み護岸です。
三川合流点（#北上川 #雫石川 #中津川）付近です。

#ミスベリング盛岡



散策路と石積み護岸

0:12 269 件の表示

🗨️ 4 🍷 16 📊 📌



国土交通省岩手河川国道事務所 @iwate_thr_mlit · 2022年12月19日
「盛岡地区かわまちづくり」が令和4年度「かわまち大賞」を受賞！

「かわまち大賞」とは、全国で進められている「#かわまちづくり」の中から、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰するものです

今回、「盛岡地区」と「石巻地区」の2箇所が大賞に選ばれました
thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/ki...

北土川で景観が整う盛岡地区と石巻地区が 令和4年度「かわまち大賞」を揃って受賞！

～令和4年12月19日（水）国土交通省で表彰式を開催～

【かわまち大賞】とは、国土交通省の「かわまちづくり」の中で、全国的に優れた取組を表彰するものです。今年度は、全国的に優れた取組を表彰する「かわまち大賞」を、盛岡地区と石巻地区の2箇所が揃って受賞しました。

【盛岡地区】は、国土交通省の「かわまちづくり」の中で、全国的に優れた取組を表彰するものです。今年度は、全国的に優れた取組を表彰する「かわまち大賞」を、盛岡地区と石巻地区の2箇所が揃って受賞しました。

【石巻地区】は、国土交通省の「かわまちづくり」の中で、全国的に優れた取組を表彰するものです。今年度は、全国的に優れた取組を表彰する「かわまち大賞」を、盛岡地区と石巻地区の2箇所が揃って受賞しました。

【かわまち大賞】の概要

【表彰】

【評価のポイント】

🗨️ 14 🍷 48 📊 8,276 📌



国土交通省 @MLIT_JAPAN · 1月11日

かわまち大賞2022を受賞した「盛岡地区かわまちづくり」「石巻地区かわまちづくり」に、齊藤大臣から表彰がなされました！

#盛岡市 #石巻市 #北上川 #かわまちづくり

mlit.go.jp/page/kanbo01_h...



5

19

2.2万



国土交通省岩手河川国道事務所 @iwate_thr_mlit · 1月12日

盛岡地区かわまちづくりが令和4年度「#かわまち大賞」を受賞しました。1月10日（火）#国土交通省において表彰式が行われ、齊藤国土交通大臣より谷藤盛岡市長へ表彰状と表彰楯が授与されました。

これからも #北上川 #中津川 のますますの賑わいが期待されます！



2

25

4,901



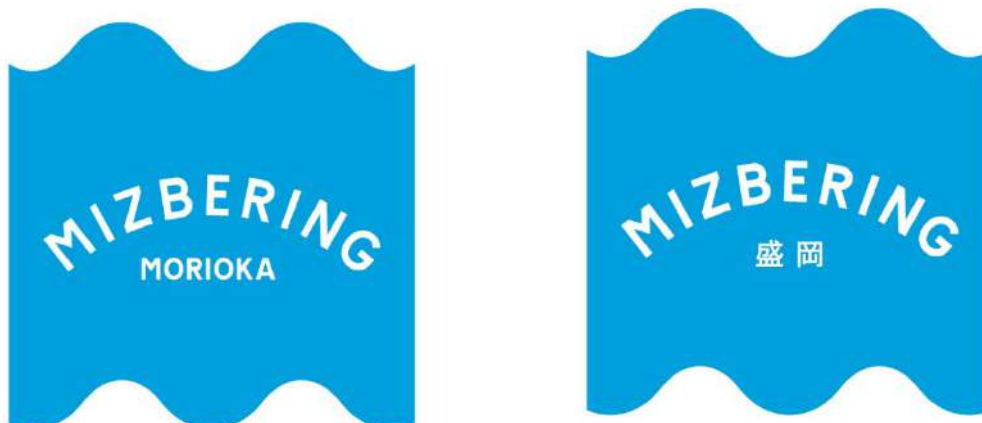
(4)「盛岡地区かわまちづくり」掲示板への情報掲出

プラザおでって1階に設けている盛岡地区かわまちづくり情報掲示コーナーでは、盛岡地区かわまちづくりの紹介パネル、「ミズベリング#ハッシュタグキャンペーン」の呼びかけポスター、中津川での映画上映会の告知、ミズベリングオリジナルロゴマーク、「盛岡かわまちづくり～季節の音巡りマップ～」、「もりかわ通信」などを掲出した。

項目	内容
発信主体	岩手河川国道事務所



おでって1階掲示コーナーでのかわまちづくり関連情報掲出状況



ミズベリングのご当地ロゴマーク（2種類）

(5) フェイスブック「もりおか北上川・中津川ミズベリングイベント情報」からの発信

ミズベリング中津川の事務局は、今年度新たにフェイスブックの公開グループを立ち上げ、北上川・中津川での生きものの様子やイベント予告などを適宜発信している。

項目	内容
発信主体	ミズベリング中津川事務局
(下記はフェイスブックに掲載された例示)	
<div data-bbox="276 517 1265 1267"> <p>管理者 - 1月25日 12:01</p> <p>おでっの2階入口付近に今年もサケの赤ちゃんがやってきました。去年も梁川は記録的な不漁だったために、北海道産の卵の提供を受けて、今春の中津川での放流会を継続する予定だそうです。遠伝子攪乱の議論はあるかも知れませんが、中津川に嫁いできたと考えることもできます。しっかり生き残って4年後にこの赤ちゃんたちと再開できる日を中津川の畔で待ちたいと思います。 #ミズベリング盛岡... もっと見る</p>  </div> <div data-bbox="276 1279 1265 1977"> <p>管理者 - 2022年9月26日</p> <p>中津川河川敷、、、ではないのですが、中津川を臨む盛岡城跡公園の芝生広場にて『馬っこふれあい会』が開催されます。 10月1日(土) 11時~14時です。 農耕馬(チャク馬でお馴染みの大きくておとなしい馬っこ)とのふれあい(ブラッシングやニンジン給与など)や、ポニー馬車体験などがあります。 要予約制ですのでお早めにご予約下さい。予約サイトは下記に。 人と馬の関係を調査する岩手大学の動物介在学研究室の学生たちが実施します。とても岩手らしい研究テーマですね。 もっと見る</p>  <p>IWATE-U.AC JP 馬っこふれあい会~農耕馬ふれあいとポニー馬車体験研究会~ 盛岡馬車みち会議に所属する岩手大学プロジェクトチーム(農学部共同獣医学科動物介在学研究室宮崎珠子准教授と獣医学科学生7名)は、人と馬の関係を調査する研究イベント「馬っこふれあい会~農耕馬ふれあいとポ...</p> </div>	



管理者 · 2022年10月8日 · 🌐

映画「ワイン・コーリング」上映会 by 中津川

心配された風もなく、無事に呑みながら呑みながら終了しました。笑
こんなに寒いのに用意したアイスが足りなくなるほどの大盛況！

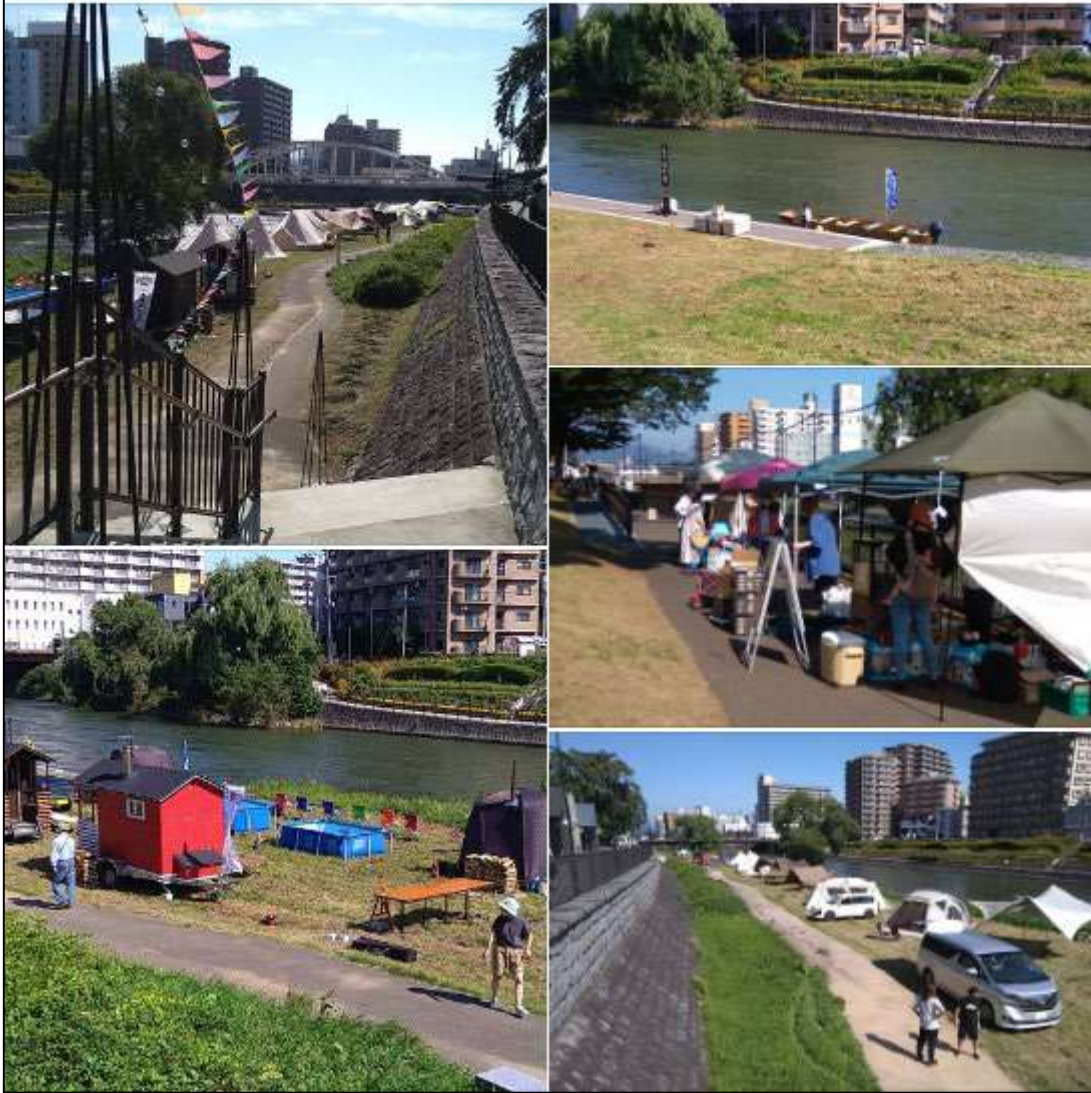
本当にナチュラルな哲学のあるいい映画でした。

みなさん、ありがとうございました。お疲れ様でした。... もっと見る



管理者 - 2022年9月10日

木伏緑地3周年フェスティバル！絶賛準備中です。
もうすぐ始まります。11時開幕ですが、船があって、サウナがあって、ワンコそばあって、焚火があって、映画もあって、、、盛り過ぎてもうよくわからないですが、とにかく一日中楽しんでください！！
#ミズベリング盛岡



(6) かわまち大賞への応募・受賞

令和2年度・3年度に引き続き、今年度もかわまち大賞に応募し、当地区を含む北上川水系の2地区が「令和4年度かわまち大賞」を受賞した。

項目	内容												
主催者	国土交通省（事務局：水管理・国土保全局河川環境課）												
応募主体	盛岡地区かわまちづくり懇談会												
大賞の趣旨	<p>「かわまちづくり」は、河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川区間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指すもの。</p> <p>「かわまち大賞」は、「かわまちづくり」の取組の中から、他の模範となる先進的な取組を表彰し、その取組を広く周知することにより、「かわまちづくり」の質的向上を図るほか民間事業者へも参入を促す。</p>												
審査の観点	<p>審査は、以下のような観点により行われる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>着目点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a) 先進性</td> <td>全国の「かわまちづくり」のモデルとなるような、先進的な取組であること</td> </tr> <tr> <td>b) 継続性</td> <td>市町村、民間事業者及び地域住民等による組織や活動が継続的に行われ、発展していること。</td> </tr> <tr> <td>c) 創意工夫</td> <td>利活用を活発化させるために、ハード施策及びソフト施策の両面で特徴的な工夫がなされていること。</td> </tr> <tr> <td>d) 連携性</td> <td>活発かつ安定的な利活用・維持管理が行われるために、多様な主体が連携した体制が構築され、各主体の役割分担が明確で、適切に運営されていること。</td> </tr> <tr> <td>e) 効果 (地域の活性化)</td> <td>取組により、観光者の増加や地域の活動が活発化するなど、課題解決に資する良好な変化が生まれていること。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	着目点	a) 先進性	全国の「かわまちづくり」のモデルとなるような、先進的な取組であること	b) 継続性	市町村、民間事業者及び地域住民等による組織や活動が継続的に行われ、発展していること。	c) 創意工夫	利活用を活発化させるために、ハード施策及びソフト施策の両面で特徴的な工夫がなされていること。	d) 連携性	活発かつ安定的な利活用・維持管理が行われるために、多様な主体が連携した体制が構築され、各主体の役割分担が明確で、適切に運営されていること。	e) 効果 (地域の活性化)	取組により、観光者の増加や地域の活動が活発化するなど、課題解決に資する良好な変化が生まれていること。
項目	着目点												
a) 先進性	全国の「かわまちづくり」のモデルとなるような、先進的な取組であること												
b) 継続性	市町村、民間事業者及び地域住民等による組織や活動が継続的に行われ、発展していること。												
c) 創意工夫	利活用を活発化させるために、ハード施策及びソフト施策の両面で特徴的な工夫がなされていること。												
d) 連携性	活発かつ安定的な利活用・維持管理が行われるために、多様な主体が連携した体制が構築され、各主体の役割分担が明確で、適切に運営されていること。												
e) 効果 (地域の活性化)	取組により、観光者の増加や地域の活動が活発化するなど、課題解決に資する良好な変化が生まれていること。												
提出した応募様式	次ページ以降に「応募様式1」（10枚）および「応募様式2」（2枚）を掲載。												
R4年度受賞地区 (2地区)	<p>◎盛岡地区かわまちづくり/ 北上川水系 北上川・中津川/ 岩手県盛岡市 題名：住民参加の「かわ」の活用～観光客数も着実に増加～ 推進主体：盛岡地区かわまちづくり懇談会 かわまちづくり登録年度：平成21年度</p> <p>◎石巻地区かわまちづくり/ 北上川水系 旧北上川/ 宮城県石巻市 題名：かわと共に発展する石巻市のまちづくり 推進主体：旧北上川河口かわまちづくり検討会、旧北上川堤防利活用協議会、旧北上川水面利用者協議会 かわまちづくり登録年度：平成25年度</p>												

21頁



1) 整備
 ・道路の整備は市営住宅と併せて、市営住宅団地内でも道路の整備を進めていく。また、市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。

22頁



2) 整備
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。

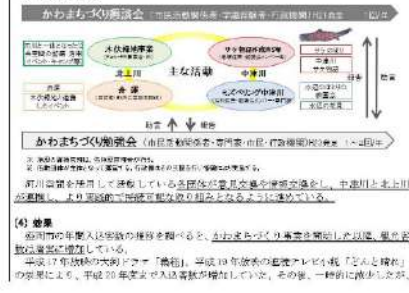
23頁



4) 計画立案
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。
 ・市営住宅団地内の道路も、市営住宅の整備に合わせて整備を進めていく。

24頁

2017年度	第11回市議会(第1回定例会)において、市営住宅団地内の道路の整備を進めていくことについて、議決された。
2018年度	第12回市議会(第1回定例会)において、市営住宅団地内の道路の整備を進めていくことについて、議決された。
2019年度	第13回市議会(第1回定例会)において、市営住宅団地内の道路の整備を進めていくことについて、議決された。
2020年度	第14回市議会(第1回定例会)において、市営住宅団地内の道路の整備を進めていくことについて、議決された。
2021年度	第15回市議会(第1回定例会)において、市営住宅団地内の道路の整備を進めていくことについて、議決された。



もりおか
きたかみがわ
きたかみがわ
きたかみがわ
いわた
もりおか

別紙③

「盛岡地区かわまちづくり」【一級河川】北上川水系北上川・中津川 (岩手県盛岡市)

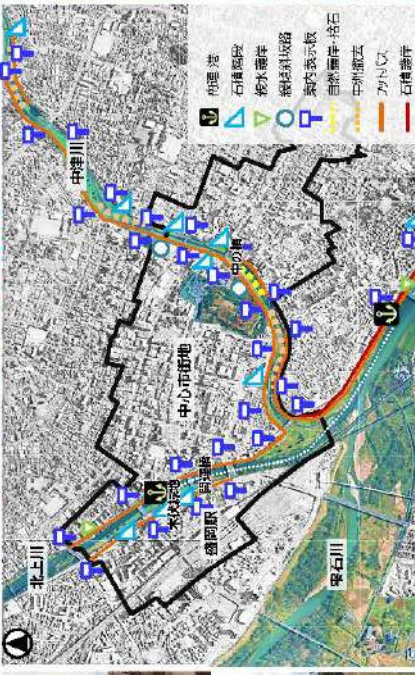
中心市街地の活性化が急務となっている中で、市内中心部を流れ、歴史的に市民に親しまれてきた、良好な観光資源でもある北上川、中津川の河川空間を活用することで、街なかの賑わい創出や観光振興に繋げる多くの取組みを市民、地域団体(商店街振興組合や町会)で構成される舟運の会)、民間(Park-PF民間事業者、ミスベリング中津川等)、国、市が連携し実施している。河川空間(階段・船着き場等)の整備にあたっては、地元や民間事業者等の「まちづくりの視点」を取り入れ利用者の意見を反映したことにより、コロナ禍においても「水際の居場所」としての開放的な空間により多くの市民に親しまれている。

推進主体

盛岡地区かわまちづくり懇談会

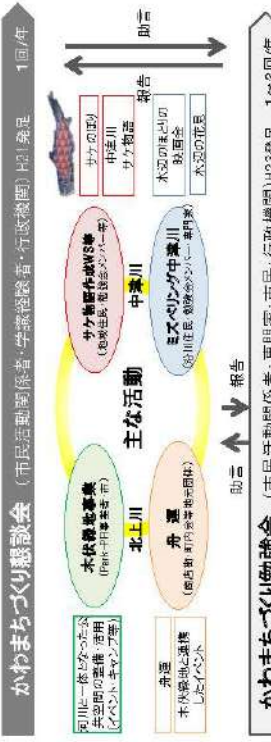
- 構成員：学識経験者、NPO法人、商工会議所、青年会議所、盛岡市、岩手河川国道事務所 等
- 代表者：盛岡市長 谷藤裕明

施設の整備状況 ～完成供用中～



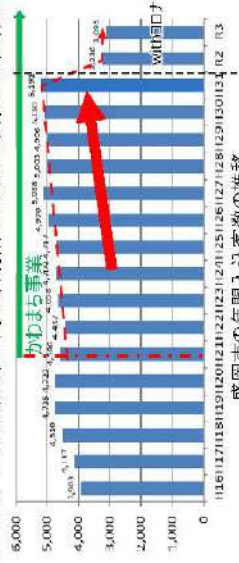
管理運営体制図

エリア全体での効果的な取組みのため、懇談会など、多様な関係主体による一体連携の枠組みを構築している。維持管理は、各施設管理者が行い、運営は、活動団体が主体となり、行政側はその支援を行うこととし、協働で進めている。



取組による効果

市内の年間入込客数の推移は、かわまちづくり事業の開始以降、着実に増加している。「盛岡市観光推進計画(5ヶ年計画)」において、平成31年度までの目標数500万人をH27・H28・H30と達成し、令和元年は更に519万人に伸びた。令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により324万人、310万人に減少したが、現在、まちなかイベントや沿川IP-PF施設等とも連携し、withコロナにおける屋外空間の居場所づくりとして、様々な利活用を推進している。



盛岡市の年間入込客数の推移

取組内容: 利用者の意見を反映した「かわ」の活用 ～コロナ禍における新たな屋外の居場所～

市内中心部を流れる北上川、中津川は日頃より散策等に利用され、従来より市民によるサケの稚魚放流会、身近な水辺での川遊び、伝統行事を含むたくさんのイベント等が開催され、多くの市民、観光客に利用されている。また、新たな市民団体主体の取り組みとして、「街なかキャンブ」、「水のほとりの上映会」、「川に親しむ舟運とまちあるき」イベント等が開催されている。北上川に隣接した木伏緑地には、Park-PF制度でオープンした商業施設があり、利用者や民間事業者の意見を反映して整備された散策路・階段・船着き場などとの相乗効果により、コロナ禍においても市民の日常的な居場所として河川空間が市民に親しまれてきている。また、これら各種取組みにより、盛岡市の年間入込客数の増加に一定の効果を発揮している。



木伏緑地 & 河川道路の賑わいと河川敷の街なかキャンブ
(北上川・開運橋上流)



舟運と街なかキャンブ
(北上川・開運橋上流)



階段・船着き場の日常の利用
(北上川・木伏緑地前河川敷)



盛岡かわとみどりのほしぞら映画祭
(北上川・木伏緑地及び中津川河川敷)



サケ稚魚放流会



親水護岸の水辺での川遊び
(中津川・中心部下流)

<受賞関連>

(国土交通省 発信)

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和4年12月19日
東北地方整備局

北上川で繋がる盛岡地区と石巻地区が 令和4年度「かわまち大賞」を揃って受賞!

～令和5年1月10日(火) 国土交通本省で表彰式を開催～

『かわまち大賞』は、全国で進められている「かわまちづくり」の中から、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰するものです。

5回目となる今年度は、有識者による審査委員会で審査を経て、全国で2箇所の取組が大賞として決定され、いずれも東北地方整備局管内で進められた『盛岡地区かわまちづくり(北上川水系北上川)』と『石巻地区かわまちづくり(北上川水系旧北上川)』が選ばれました。

なお、決定された団体に対し、国土交通大臣より表彰式が行われますので、詳細については別添の国土交通省発表資料をご参照ください。

<参考(令和4年12月現在)>

○平成30年度から令和3年度に表彰された箇所は全国で9箇所あり、東北地方では平成30年度に『長井地区(山形県長井市:最上川水系最上川)』、令和3年度に『閉上地区(宮城県名取市:名取川水系名取川)』がそれぞれ大賞を受賞しています。

○東北地方整備局管内では、合計26箇所[※]のかわまちづくりが登録されています。

○今回の盛岡地区及び石巻地区の受賞により東北地方では、4地区のかわまちづくりが全国の先進的な取組として評価されたこととなります。

※26箇所の内、岩手県内が3箇所(盛岡、一関、西和賀)、宮城県内が3箇所(鴫波、石巻、閉上)登録。

<発表記者会:宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会、岩手県政記者クラブ、石巻記者クラブ、古川記者クラブ>

【かわまち大賞及び表彰式に関する問い合わせ先】

国土交通省水管理・国土保全局 河川環境課

課長補佐 村山 (内線35-432) 係長 坂本 (内線35-433)

【電話】03-5253-8111、03-5253-8447(夜間) 【FAX】03-5253-1603

【東北地方のかわまちづくりに関する問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 河川環境課

課長 八木 (内線3651) 建設専門官 石井 (内線3652)

【電話】022-225-2171

【盛岡地区かわまちづくりに関する問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

副所長 木村 (内線204)

【電話】019-624-3131

【石巻地区かわまちづくりに関する問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所

副所長 小嶋 (内線204)

【電話】0225-95-0194

令和4年12月19日
水管理・国土保全局河川環境課

令和4年度『かわまち大賞』を決定しました

『かわまち大賞』は、全国で進められている「かわまちづくり」の中から、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰するものです。

このたび、有識者による審査委員会の審査を経て、2箇所の取組が大賞として決定されました。受賞者の表彰式は、令和5年1月10日（火）に国土交通省において行う予定です。

1. 受賞箇所

かわまちづくり名称	推進主体	関係自治体
盛岡地区かわまちづくり	盛岡地区かわまちづくり懇談会	岩手県盛岡市
石巻地区かわまちづくり	旧北上川河口かわまちづくり検討会 旧北上川堤防利活用協議会 旧北上川水面利用者協議会	宮城県石巻市

各箇所の取組及び評価は、「別紙①」及び下記動画をご覧ください。

盛岡地区かわまちづくり：<https://youtu.be/F1AGjTq9rNM>

石巻地区かわまちづくり：<https://youtu.be/AWcHtPduU7c>

2. 表彰式

- 日時 令和5年1月10日（火） 13時00分～13時30分頃
- 場所 国土交通省 国土交通大臣室（予定）
（東京都千代田区霞ヶ関2-1-3 中央合同庁舎3号館）

3. 取材等

- 表彰式の撮影・取材を希望される報道関係者の方に限り、1月6日（金）12時まで、以下事前登録先に、社名・役職・氏名・連絡先（電話&E-mail）を登録ください。
【事前登録先】：E-mail：hqt-kawayorozu@gxb.mlit.go.jp
- 写真撮影にあたっては、進行の妨げにならないようお願いいたします。
- 公務等の都合により、開始時間・場所等が変更となる可能性があります。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、各社1名とし、マスクをご着用いただくとともに、風邪等の症状がある場合には参加を控えていただきますようお願いいたします。なお、腕章等を見える位置につけて下さい。
- 当日は、12時45分に4階エレベーターホールにお集まりください。

添付資料 [別紙①](#) 受賞箇所の取組及び評価 [別紙②](#) 審査委員会開催概要

[参考①](#) かわまち大賞の概要 [参考②](#) かわまちづくり支援制度の概要

【問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 課長補佐 村山、係長 坂本
TEL：03-5253-8111（内線35-432、35-433）、03-5253-8447（直通）
FAX：03-5253-1603



もりおかちく

盛岡地区かわまちづくり

【題名】住民参加の「かわ」の活用 ～観光客数も着実に増加～
 【河川】北上川水系・北上川・中津川（一級河川）



かわまちづくりの概要

- ・中心市街地の活性化が急務となっている中で、市内中心部を流れ、歴史的に市民に親しまれており、良好な観光資源でもある北上川、中津川の河川空間を活用することで、まちなかの賑わい創出や伝統的な行事など観光振興に繋げる多くの取組を市民、地域団体、民間、国、市が連携し実施している。
- ・河川空間の整備にあたり、地元や民間事業者等の「まちづくりの視点」を取り入れ利用者の意見を反映することにより、コロナ禍においても「水際の居場所」としての開放的な空間が確保され、多くの市民に親しまれている。
- ・北上川に新しい船着場を活用した舟運の本格運航に向けて「かわ」と「まち」を結んだ新たな取組をしている。

評価のポイント

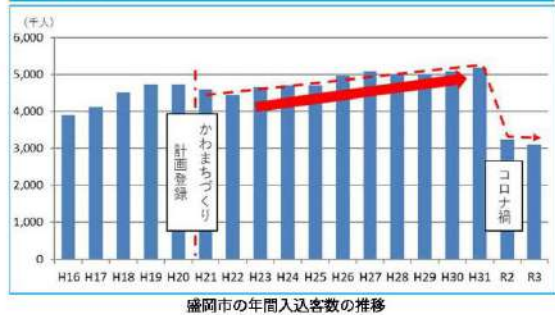
- ・北上川沿いの木伏緑地においては、東北地方初となる民間資金を活用した公園整備（Park-PFI）と併せ、河川空間を一体的に再整備することで、「かわ」と「まち」との一体的な賑わいを創出できており、まちなかへの波及効果が出ていると評価できる。
- ・木伏緑地運営者や中津川でのミスベリング検討会など、活動主体が新たに広がり、地域住民や民間事業者等による組織の活動が継続的に発展していると評価できる。

体制

・推進主体：盛岡地区かわまちづくり懇談会



効果



問合せ先：盛岡市都市整備部公園みどり課

TEL：019-651-4111 E-Mail：kouen@city.morioka.iwate.jp

別紙① 受賞箇所の取組及び評価

令和4年度 かわまち大賞



いしのまきちく

石巻地区かわまちづくり

【題名】かわと共に発展する石巻市のまちづくり

【河川】北上川水系・旧北上川（一級河川）



かわまちづくりの概要

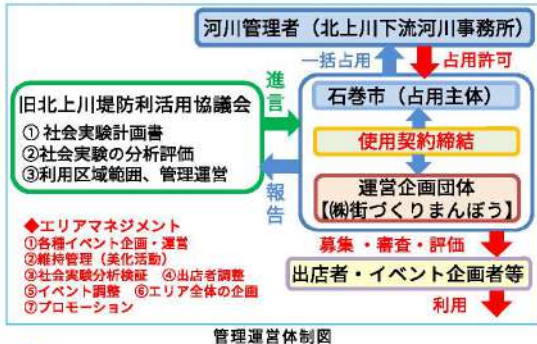
- ・東日本大震災後の復興まちづくりとして無堤部区間への堤防整備とあわせてかわまちづくりを実施し、市街地に隣接する区間では堤防天端を拡幅し、愛称「かわまちオープンパーク」として定期的にイベントを開催し、堤防上にキッチンカーが出店する等、新たな観光・交流拠点の場となっている。
- ・堤防に隣接する「いしのまき元気いちば」は、堤防背面に盛土と直立擁壁を設置することで、最大17m幅の「堤防一体空間」を創出しており、堤防から隣接する商業施設の2階部分に直接出入りできる。

評価のポイント

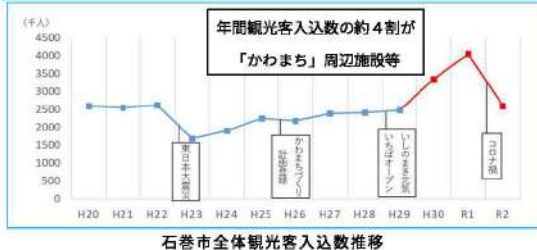
- ・震災直前に策定したかわまちづくり構想を継承し、河川堤防上の利活用に配慮した整備のほか、様々な関係主体がかわまちづくりのプロセスに参画しているなど、かわとまちをつなげた賑わい・憩いの水辺づくりは高く評価できる。また、施設の構造的に優れたデザインの高さ、石や素材の選び方など、細部にまで様々な工夫が施されていると評価できる。
- ・元気いちばは観光客だけでなく、市民にも日常的に利用されており、背後の復興公営住宅や民営住宅の整備と併せて河川空間が整備されたことで、まちへの波及効果も大きい。かわまちづくりの取組が復興まちづくりに大きく寄与していると評価できる。

体制

- ・推進主体：旧北上川河口かわまちづくり検討会、旧北上川堤防利活用協議会、旧北上川水面利用者協議会



効果



問合せ先：石巻市河川港湾高規格道路整備推進課
 TEL：0225-95-1111 E-Mail：ishwpromo@city.ishinomaki.lg.jp

別紙②

令和4年度「かわまち大賞」 ○開催日時:令和4年11月10日
審査委員会開催概要 ○開催場所:国土交通本省会議室

1. 応募箇所

- ▶ 「かわまちづくり」支援制度には、現在、252件が登録されており、その中から今年度は、11件の応募がありました。

2. 審査委員会

- ▶ 審査委員会は、河川に造詣が深い、建築・都市史、観光、地域政策の分野の有識者4名で行われました。

	氏名	所属
委員長	陣内 秀信	法政大学 特任教授
委員	楓 千里	國學院大學 観光まちづくり学部 教授
委員	佐々木 葉	早稲田大学 創造理工学部社会環境工学科 教授
委員	中庭 光彦	多摩大学 経営情報学部 事業構想学科 教授

(五十音順、敬称略)

3. 審査結果

- ▶ 先進性、継続性、創意工夫、連携性、効果の5つ観点の評価をもとに、委員の総意により、「かわまち大賞」として2件が決定されました。

(盛岡市 発信)

 盛岡市プレスリリース ～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～	令和4年12月19日 都市整備部 公園みどり課
--	-------------------------------

市政記者クラブ加盟社 各位

令和4年度 全国『かわまち大賞』を受賞しました！

『かわまち大賞』は、全国で「かわまちづくり」計画が登録されている 252 箇所のうち、進められている「かわまちづくり」の中から、地域を流れる川を活かして、賑わいを創り出し、他の模範となる先進的な取組を、国土交通大臣が表彰するものです。

5回目となる今年度は、盛岡市が応募した『盛岡地区かわまちづくり』の取り組みが、有識者による審査委員会での審査で評価され、『大賞』として決定されました。

国土交通大臣より表彰式が下記のとおり行われますのでお知らせします。

記

1 受賞箇所

かわまちづくり名称	推進主体	関係自治体
盛岡地区かわまちづくり	盛岡地区かわまちづくり懇談会	岩手県盛岡市

【取組及び評価】国土交通省東北地方整備局ホームページ参照：

http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/93927_1.pdf

【動画】盛岡地区かわまちづくり：<https://youtu.be/F1AGJtq9rNM>

2 表彰式並びに国土交通大臣との意見交換の日時

【名称】盛岡地区

【日時】令和5年1月10日(火) 表彰式 13時00分から13時30分
意見交換 13時30分から14時00分

【場所】国土交通省 国土交通大臣室 (予定)
(東京都千代田区霞ヶ関2-1-3 中央合同庁舎3号館)

【出席者】盛岡市長
国土交通省 東北地方整備局 河川部長、岩手河川国道事務所長
盛岡市 都市整備部長

3 表彰式の取材等 国土交通省 Press Release 「3. 取材等」を参照

http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/93927_1.pdf

4 令和4年度「かわまち大賞」の概要

【主催】国土交通省

【目的】これからの「かわまちづくり」の質的向上を図るほか、民間事業者へも参入を促すため、全国で進められている「かわまちづくり」の中から、地域を流れる川を活かして、賑わいを創り出し、他の模範となる先進的な取組について、国土交通大臣が『かわまち大賞』を表彰するものです。

【応募対象】「かわまちづくり」計画が登録されている 252 箇所のうち、全部又は一部が供用している箇所において、地域のニーズに応じた利活用が図られ、地域活性化に一定の成果を上げている応募主体が中心となって実施している取組が対象となります。

【問い合わせ先】

盛岡市 都市整備部公園みどり課
担当：計画係長 齊藤 和貴
TEL：019-601-2813

(盛岡地区かわまちづくり懇談会事務局 発信)

 国土交通省岩手河川国道事務所 @iwate_thr_mlit · 1月12日

盛岡地区かわまちづくりが令和4年度「#かわまち大賞」を受賞しました。1月10日(火) #国土交通省 において表彰式が行われ、斉藤国土交通大臣より谷藤盛岡市長へ表彰状と表彰楯が授与されました。

これからも #北上川 #中津川 のますますの賑わいが期待されます！





令和4年度 かわまち大賞 表彰状

(7) ニューヨークタイムズ紙による盛岡市選定情報

項目	内容
発信主体	盛岡市、その他報道機関
発信日	令和5年1月19日
発信概要	アメリカのニューヨークタイムズ紙（電子版）は、「2023年に行くべき52か所」に盛岡市を選出した。
発信内容	盛岡市ホームページにおいて、下記のように広報された。

ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に「盛岡市」が選ばれました！！

広報ID1041747 更新日 令和5年1月19日

中心市街地に歴史的な建物と川や公園などの自然があり、まちを歩いて楽しめるところや、コーヒー店、わんこそばのほか、書店、ジャズ喫茶などの文化が根付くまちであることが評価され、アメリカのニューヨーク・タイムズ紙（電子版）が令和5年1月12日に発表した「2023年に行くべき52カ所」に「盛岡市」が選ばれました。

紙面で紹介された盛岡の魅力

記事で紹介された当市の魅力を紹介します。（記事は随時更新します）

盛岡城跡公園（岩手公園）

かつて不来方（こずかた）城跡とも呼ばれた盛岡城跡は、今は市民の憩う公園として親しまれています。春は桜の名所として、夏は街の中心に緑の木蔭をつくり、秋は見事な紅葉に彩られます。そして冬は墨絵のような雪景色にすっぽりと包まれ、ライトアップされた石垣が幻想的な冬の夜を演出します。



中津川

中津川（なかつがわ）は、市内を流れる一級河川。夏にはアユ釣りを楽しむ人々の姿が見られ、秋になると産卵のために遡上するサケが見られるなど、盛岡の四季の移り変わりを伝えてくれます。



盛岡市の魅力がもっとわかる取り組みや動画です！

懐かしくて新しいノスタルジックタウン・盛岡の魅力を体感できる4つのモデルコースを掲載

[盛岡ノスタルジックトリップまち歩きマップ（デジタルマップ）](#)

若者が歩いて見つけた盛岡の魅力満載マガジン

[歩いて楽しむ文化の街盛岡](#)

盛岡のものづくりとグルメの魅力を発信する動画

[テレビ番組「歩いて紡いで〜もりおか物語」ダイジェスト版](#)

盛岡の魅力を伝えるためのプロモーション動画

[盛岡市プロモーション動画（MORIOKA）](#)

外国人観光客向けの盛岡PRムービー

[外国人観光客向けの盛岡PRムービー「Drawn to Morioka」](#)

盛岡の特産品を多数取り揃えています。応援よろしく申し上げます。

[もりおか元気応援寄附（ふるさと納税）](#)